

科目名	地球環境論	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	澤口 晋一		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-2-110011	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	地球環境問題に特化する。地球環境問題はアプローチの仕方によって国際政治・経済、法学といった分野とも密接に関わってくるが、この講義ではそうした方面からではなく、まず、どこで何が起きているのかを発生メカニズムを踏まえて具体的に解説した後、その問題に対する（国際）社会の対応と成果および課題、といった順番で説明する。これによって地球環境問題の体系的な把握が可能となる。地球環境問題は多くの人が知っているつもりになっているが、実はよくわかっていないという最たるものの一つである。まずは正しい基本知識理解し頭に入れることを目的とする。これがすべての前提です！取り上げるのは、地球温暖化、オゾン層の破壊、生物多様性、プラスチックによる環境汚染、核燃料サイクルの5項目である。なお、授業ではパワーポイントと同じ内容の資料（カラー）を配布し、それにそって授業を進めるが、資料は毎回、翌週使用するものを配布し、事前予習が可能となるようにしている。				
学修到達目標	現在、問題となっている地球環境問題を体系的に把握し、自己の行動をいかにすべきかを考えられるようになること。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	「地球システム」と地球環境問題
第2回	地球環境問題の発生とその構造
第3回	地球環境問題に関する国際社会のこれまでの取り組み①

第4回	地球環境問題に関する国際社会のこれまでの取り組み②
第5回	地球環境問題としての核燃サイクル①
第6回	地球環境問題としての核燃サイクル②
第7回	地球環境問題としての核燃サイクル③
第8回	地球環境問題としての核燃サイクル④
第9回	地球温暖化①
第10回	地球温暖化②
第11回	地球温暖化③
第12回	オゾン層の破壊
第13回	生物多様性

第14回	プラスチックによる環境汚染①
第15回	プラスチックによる環境汚染②
第16回	試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間（前週配布の資料を利用した予習）
【復習】時間・内容	2時間（当該週に配布した資料と各自のメモの確認，不明点の理解）

成績評価	
評価基準・方法	成績評価は，定期試験（90%）のほか，授業内に小テストを3回実施（10点×3回=30%），さらに授業外レポート1回（10%）を課し，その総合点で行う。なお，授業では毎回コメントペーパーを提出させている。そのなかで，質問や意見で特に必要なものについては，詳しい説明や解説を，翌週15～20分程度時間をとって行うことでより深い理解と興味を引き出すよう努める。
フィードバック方法	毎回のコメントカードに記載された質問や意見，感想に答える形でできるだけきめ細かくフィードバックを行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	授業にて紹介する。
受講上の留意点等	毎回、パワーポイントを用いた授業を行う。毎回カラー刷りの資料を配布する。なお、資料は毎週、翌週使用するものを配布するので、それを確認し予習しておくことが望ましい。授業中のスマホ操作は厳禁とする。
JABEE	